

三遊亭好青年 先生 略歴

落語家 五代目圓楽一門会に所属。

本名 ニルソンビョルク ヨハン

スウェーデン ウプサラ市出身。1985年10月3日生まれ。

国立ストックホルム大学に在学中、南山大学と中央大学に留学。

中央大学に留学中、落研に入部し落語に出会う。

2016年、三遊亭好楽に入門し、2020年、二ツ目に昇進。

今年2026年は、落語家10周年を迎える。

江戸時代から400年続く落語の世界で、スウェーデン人で初、さらにヨーロッパ出身で初の落語家となる。江戸落語では唯一の外国人落語家。

寄席、全国各地の落語会だけでなく、日本の伝統芸能である落語を海外にも広めたく、イギリス、フランス、ドイツ、スウェーデン等、ヨーロッパを中心に海外公演も行う。

笑点、NHKworld等のテレビ番組にも出演。

司会、ナレーション、ラジオパーソナリティ、CM、講演、執筆等も行う。

三遊亭好青年 HP <https://kouseinen.com>



節分豆まき(2026.2.2 東京ソラマチ(R))



三遊亭好楽師匠(左)と

*今回講演会・落語会『日本の伝統芸能の世界と北欧スウェーデン』について



能代落語会より(2025.10.26 金勇)

スウェーデンで生まれ育ち、8000km離れた異国「日本」へ興味を持ち、大学で交換留学生として来日。大学で落語研究会に入部したことが、私の落語との最初の出合いとなりました。笑点でお馴染みの三遊亭好楽に弟子入りし、五代目圓楽一門会に所属。今年で落語家10周年を迎えます。落語家を志した理由や厳しい前座修行、スウェーデンと日本の文化や生活、意識の違い、また、外国人として日本で生きること等、異文化への理解や多様性、共生社会の大切さについて、意識を育むようなお話をさせていただきます。講演後には、落語もぜひお楽しみください。

「市民おもしろ塾」10年の軌跡(抜粋)

2016年6月18日、高校の同期生が古希を期に、郷里をさらに活性化し、市民全体をより元気にすることに賛同し集い設立。現在に至る。

※肩書きは、その当時のものです

○第1回2016年9月24日(土)

『心の健康、いやしの音楽』納谷晋一(元中学校教員)

○第25回2017年9月30日(土)

『フードバンクを考える』

遠藤昌男(中央ライフ・サポートセンター代表)

藤井真貴子(浄明寺フードバンク代表)

○第50回2018年11月10日(土)

『広がるボランティア・NPOの豊かな世界』

小関隆志(明治大学准教授)

『今までの地域活動とこれからの夢』

能登祐子(能代市自治会連合協議会会長)



【受賞歴】

『変身大賞』(H29 秋田人変身力会議)

『元気なふるさと秋田づくり地域活動表彰』(H30 能代山本地域振興局)

『地域文化奨励賞』(R4 山下財団) 『地域課題に取り組む団体に対する寄付』(R8 秋田銀行) 『地域団体顕彰』(R8 しらかみ地の塩基金)

○第75回2019年12月21日(土)

『新視点 秋田戊辰戦争と能代』

畑中康博(秋田県生涯学習課学芸主事)

○第100回2021年7月3日(土)・4日(日)

『マルヒコプロジェクトと若者たち』

湊 哲一(ミナトファニチャー代表、合同会社のしろ家守舎代表)

『極め付き?川柳10句と能代への想い』

あゆかわのぼる(詩人、エッセイスト、川柳評論家)

『波瀾万丈の人生と『踊る。秋田』への情熱』

山川三太(『踊る。秋田』フェスティバルディレクター)

記念演奏会 太田徹&THE CATWALK JAZZ BAND

7月4日 納谷嘉彦スペシャルビデオレター(ジャズピアニスト)

○第125回2023年3月11日(土)

『私の人生の歩みと地域への想い』

武田英文(秋田県林業育成協会会長、丸上木材株式会社社長)

○第150回2024年7月21日(日)

『輝く今と一緒に生きよう!』(記念講演会・演奏会)

渡邊英心(三種町松庵寺副住職、ミュージシャン)

